伝統の技ここに・元町弥生画

12月18日（木）、鶴田八幡宮神楽殿において、弥生画の大作を制作中である元町弥生会（大船晃嗣会長）の皆さんへ中野町長が激励に行き、張り付け作業を手伝いました。

今年の弥生画は、「琵琶（びわ）を奏でる弁財天」という題名で、インド、中国では農業の神として崇拝されている「弁財天」をモチーフに、鶴と亀、岩木山をあしらい、弁財天が琵琶を奏でている様子を表現したもので、「来年は、コメもリンゴもスチューベンも災害に遭わず、最後に農家の方が笑顔で秋が迎えられますように」と会員全員の願いが込められ制作されています。今年で、220年目を迎える奉納弥生画は、会員それぞれが技を磨き、伝統に恥じない作品を制作しようと頑張っていました。ちなみに中野町長が貼ったところは、弁財天の冠の一部ですが、５㎝四方貼るのに１時間以上もかかります。

参拝の際は、ぜひ正面大鳥居をご注目ください。

△細かい作業が続くため、常に緊張して望む会員たち

12/19あやめ児童館クリスマス会

12/18富士見小おはなし会

12/17英会話教室クリスマス会

話題 にしひがし

あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22－2111 内線263）

地区の有志で大しめ縄づくり・間山

12月13日（土）～20日までの８日間、間山文化センターにおいて、地区の有志で結成された間山しめ縄有志会（渋谷光男の）８人により「大しめ縄づくり」が行われました。

有志の皆さんは、夏に富士見湖畔に茂ったスゲを刈り取り干しておいたたものをむしろのように編み、その中にスゲの葉を巻いて太い縄にし、三本できあがるとその三本を縄をなう要領で大しめ縄に作り上げていきました。４本作られた大しめ縄は、白上姫神社、廻堰八幡宮奉納に奉納され、新年の五穀豊穣を祈りました。

△大きな竹針で編んでいく

△大縄をなう時は男３人で行う力のいる作業

門松作って福来たる・体育センター

12月14日（日）、鶴田町体育センターにおいて、青森県梵珠少年自然の家主催「平成20年度ヤッホー自然教室　門松を作ろう」が開催され、鶴田町からの参加者を含め、県内各地から親子120人が参加して、門松づくりを楽しみました。

講師の太田研修課長から、基本となる土台の作り方説明が行われると、参加者は熱心に耳を傾け、竹の先端に注意しながら、土台となる部分をしっかり作っていました。上に飾る松や杉等は自由にレイアウトして、最後に自分だけのオリジナルの門松を完成させていしました。

△完成度が高い先生の作品（サンプル）

△作り方の説明が行われると熱心に耳を傾ける参加者たち

雪道に注意を！冬の交通安全運動

12月16日（火）〜22日までの１週間、鶴田町交通安全協議会、交通安全母の会のほか、各地区の団体により冬の交通安全運動が展開され、雪道や凍結路面での事故防止を町民の方々に強く呼び掛けました。

16日（火）早朝には、各交差点での街頭啓発と子どもたちへの交通安全指導が行われ、また同日の昼からは、鶴田駐在所前で啓発運動が行われ、ドラーバーの皆さんに安全運転のチラシが配られました。

冬の運転は、危険と隣り合わせです、スピードを落とし安全運転を心掛けましょう。

全運動実施中
交通安全

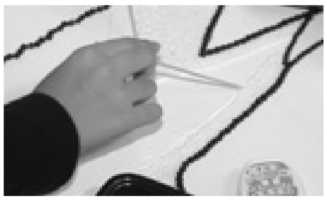
△町民一丸なって冬道の交通事故をゼロめざそう

△ドライバーに安全運転を呼び掛け

胡桃舘小児童が弥生画にチャレンジ

12月17日（水）、山道老人憩いの家で、胡桃舘小学校（今信夫校長）６年生が授業の時間を活用し、山道弥生画保存会（小野寺秀昭会長）の方々から指導を受けながら、山道くらおう神社に奉納する弥生画の制作にチャレンジしました。

低い姿勢で、小さなコメや豆などを一粒づつ貼って行く作業に、子どもたちは５分も経たずに「交代して」と隣りの友達に、張り付ける棒を渡していました。この作業を通じて、山道地区の方々の弥生画への思いが子どもたちに伝わった気がします。



△細い棒で１粒づつ貼るっていく

△地元（山道）の方から指導を受ける児童